

学校の教育目標		知・徳・体の調和のとれた心豊かな児童の育成				
評価項目	評価指標	評価する内容	アンケート結果と分析	自己評価	学校関係者評価	学校関係者のご意見
学力の向上	1 分かりやすい授業に取り組んでいる。 2 図書館を利用した読書活動に取り組んでいる。 3 児童は、進んで家庭学習に取り組んでいる。 4 授業でタブレット活用に取り組んでいる。	・学力向上を目指した授業改善の実践 ・読書指導週間 ・家庭学習週間 ・タブレット端末の活用	○ 校内でOJTによる授業力向上のための、相互参観授業に取り組んだことで、教師同士が気軽に評価し合う雰囲気が生まれ、授業力向上につながってきている。 ○ 「親子読書」や「読み聞かせ」「多読賞」の取組により、本への興味をもち読書をする児童が増えた。今後家庭での読書推進への手立てを講じる必要がある。 ○ 家庭の協力もあり、進んで家庭学習に取り組む児童が増えた。 ○ 授業におけるICTの効果的な活用方法が確立されつつあり、児童の学習への興味関心が高まってきている。 ● 次年度、「学びの見届け週間(毎学期)」「学びの確認週間(年度末)」を設定し、学習内容の確実な定着を図っていく。 ● 学力は、授業の中で定着が図られるよう、一人一人の個人差に応じた指導や見届けを継続して行う必要がある。 ● 積極的な図書館利用のために、蔵書数を増やしたり、児童が読書を楽しむ環境づくりをしたりして、推進する必要がある。 ● タブレット活用について、情報モラルと共に更なる活用を図る必要がある。	教職員 3 保護者 2.8 児童 3.3	3.3	・ 学力調査の結果から、学力向上が図られていると感じた。授業参観をして、落ち着いている学級は、学力が高い傾向があるとの説明なので、今後、落ち着きのある学級経営をどう行っていくかが今後の課題である。 ・ 4年生の他校とのオンライン授業を参観した。学ぶことは楽しい、心ワクワクすること、頭だけでなく、心を動かすこのような授業が今後も行われるといいなど感じた。 ・ 授業参観をさせていただく中で、子ども達の元気な姿、真剣に取り組む姿に明るい都農小の未来が見える。 ・ 表現力育成の上からも新聞やラジオへの作品投稿が効果を上げていると思う。自分の気持ちを素直に表現していく、この取組は、情操教育、豊かな心を育む取組にもつながると思う。 ・ タブレット活用等様々な変化に対応が大変だが、よくご指導していただいている。情報モラルについては、大人も含め対策を考えていく必要がある。
豊かな心	5 生徒指導・特別支援教育について、組織的な対応に努めている。 6 人権教育の常時指導に努めている。 7 子どもは、気持ちの良いあいさつや返事ができている。 8 5つのできる子+1ができている。	・校内研修 ・SC、SSW等の活用連携 ・あいさつ運動 ・教育相談アンケート	○ 今年度も生徒指導や特別支援教育について、研修の機会を設けたり、職員間で共通理解をしたりすることで、指導に役立てることができた。 ○ 関係機関との連携を図り、悩みをもつ児童や保護者、不登校傾向にある児童への支援などを行うことができた。 ○ 「あいさつ日本一の学校」を目指し、「あいさつ名人の表彰」「計画委員会のあいさつ運動」「保護者の方のあいさつ見守り」等により、児童一人一人のあいさつを大切に思う意識が高まりつつある。 ○ 心のアンケートを月1回、親子心のアンケートを2カ月に1回程度実施したことで、児童の悩みの早期発見・早期解決に役立てることができた。 ● 日常の言葉遣いについて、教師自身も言語環境を整える上から、気を付けて行う必要がある。 ● 関係機関との更なる連携や生徒指導・特別支援教育のスキルアップに向け、積極的な研修を行っていく。	教職員 3 保護者 3 児童 3.4	3.5	・ 廊下に掲示された、作品のユーモアのセンス、思いやりの木へのたくさんのコメントを見ると、優しい子どもたちの心が見えてくる。成長とともに不安定になることもあるかと思うが、それぞれがもつ思いやりの心を忘れずに成長して行って欲しい。 ・ 落ち着いて学習に臨む上からも、「清掃指導」は大切だと思う。都農小の無言清掃への取組は素晴らしい。学校が汚れていては豊かな心は育まれない。 ・ 今年度特に、あいさつがとてもよくなっていると感じる。遠くからでも元気よくあいさつしてくれて、元気をもらっている。
健康・体力	9 規則正しい生活リズムを確立するための確かな指導を推進している。 10 感染症や病気の予防を理解するための確かな指導を推進している。 11 命を大切にするための安全教育についての確かな指導を推進している。 12 食に関する確かな指導を推進している。	・感染症予防のための日常指導 ・月1回「命の日」の実施 ・避難訓練(不審者、地震<津波>、火事) ・給食感謝週間	○ 新型コロナが5類へ移行されたが、引き続き、感染状況に応じた日常指導を行うことができた。(感染症流行の状況に応じマスクの着用、換気、手洗い・うがいの励行) ○ 状況に応じた実効性の伴う避難訓練が実施できた。今後も、児童が主体的に「自分の身は自分で守る」指導を行っていききたい。 ○ 月1回の「命の日」では、決められたテーマに沿って、共通理解のもと担当者や学級担任による話をする事ができ、命の大切さを考えさせることができた。 ○ 3学期に給食感謝週間を実施し、児童は食べ物の大切さや給食づくりに携わる人々の苦労などを知ることができた。給食の残菜が少なくなってきた。 ○ 毎日運動(外遊びの励行、ストレッチ体操の実施)に取り組ませ、健康な体づくりを推進した。 ● むし歯保有率は少ないが、治療率が上がらないので、今後も保護者への啓発を続けていく。	教職員 2.8 保護者 3.1 児童 3.4	3.3	・ 体力テストの結果から、瞬発力、柔軟性が少し低いと感じた。来年度の取組に活かしてほしい。 ・ 引き続き、昼休みの外遊びを励行し、体力向上を図って欲しい。 ・ むし歯の治療率が低いと聞いた。一生ものなので、大切にして欲しい。コロナ制限もゆるくなってきているので、外遊びを積極的に行って、体力をつけて欲しい。 ・ 持久走大会を藤見陸上競技場でやっているとのこと。とても素晴らしい取組だと思う。安全であり、とても走りやすい。今後も都農小の伝統として残してほしい。 ・ 地域の避難訓練についても積極的に参加して欲しい。そのための情報発信をtetoru等でお願したい。

<p>学校・家庭・地域との協働</p>	<p>13 地域の資源を活用したキャリア教育を推進し、地域と連携を図っている。</p> <p>14 各種便りや学校ホームページを活用し、家庭や地域に情報発信している。</p> <p>15 専門機関（民生児童委員、SC,SSW）との連携に努めている。</p> <p>16 保護者による主体的な活動を推進、また連携しながら PTA 活動の充実を図る。</p>	<p>・学校運営協議会の設立</p> <p>・地域学校協働本部との連携</p> <p>・学校便りやホームページによる情報発信</p> <p>・専門機関との連携</p> <p>・児童の</p> <p>・三先生をしのぶ会の実施</p> <p>・運動場芝生化</p> <p>・PTAとの連携</p>	<p>○ 外部人材に協力いただき、様々な活動を行うことができた。（学校行事、各教科、クラブ活動）</p> <p>○ 三先生をしのぶ会では、外部講師の方に当時の様子を語っていただくことができ、大変有意義だった。</p> <p>○ PTAの協力のもと、4年ぶりに「おすずっ子祭り」を実施することができた。地域や保護者の方と交流を図るとも良い機会となった。</p> <p>○ 総合的な学習の時間「きらら学習」では、3年「ふるさと学習」4年「福祉」5年「環境」6年「平和」をテーマに、地域資源を活用することができた。</p> <p>○ 各種便りやホームページ、テトル、新聞やラジオ投稿などで、積極的に情報を発信し、児童の様子を伝えることができた。（今年度、新聞・ラジオで作品が紹介された児童、延べ108名）</p> <p>○ SCの定期的な活用、SSWとの連携による情報交換や家庭訪問等を実施することができた。</p> <p>● 地域資源の有効活用を図るためにも、地域学校協働本部と連携しながら取り組んでいきたい。</p> <p>● 今年度タブレットの持ち帰りを始めたが、今後、端末を活用した家庭学習の充実も図っていきたい。</p>	<p>教職員 3 保護者 3.4</p>	<p>3.1</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「おすずっ子祭り」での、親子のスキンシップ、地域の方々との連携・協力、とても素晴らしい取組である。 ・家庭でのあいさつ、返事等の躰、家庭教育力の向上が大切である。学校任せでなく、保護者も学んでいく必要がある。 ・PTA新聞は大変すばらしかった。大人が子ども達を見る目線の大切さが伝わってきた。 ・学校でやれることには限界がある。（もうすでに十分している。）地域の我々が、気にかけて子どもの安全を守ったり、育てていったりすることが大切である。地域全体で関わる環境づくり、委員を中心に、先生の手を煩わせず、助けとなる動きができればいい。その仕掛けを今後考えていきたい。 ・150周年記念行事に向け、実行委員の選定、テーマ、シンボルマーク、町全体への告知等を積極的に進めていく必要がある。 ・運動場緑化、素晴らしい環境で子ども達が過ごしていること、積極的なPTA活動に感謝の思いが強い。 ・新聞やラジオ投稿など子どもたちの情報発信は子どもの世界も広がると同時に、自信にもつながる取組だと思う。 ・町を歩いている時に気になるのが、自転車の乗り方、下校中の車道への広がり、乱暴な言葉等がある。学校を離れてからは、家庭・地域での問題でもあるので、指導を行って欲しい。先生方への負担軽減にもつながるとよい。
<p>共通実践事項</p>	<p>★「めあて」をもち、学習活動に取り組んでいる。</p> <p>★「工夫」しながら、活動に取り組んでいる。</p> <p>★めあてやくふうしたことを「伝える」活動に取り組んでいる。</p>	<p>・8つのめあての掲示</p> <p>・集会等での話</p>	<p>○ 全ての活動において、児童がめあてをもって取り組めるよう、全校朝会での校長講話や担当者が、集会などで話をし、周知を図ることができた。</p> <p>● 「めあて」をもち「工夫」しながら「伝える」ことを授業、学校行事、保護者との連携を図りながら進めていきたい。</p>	<p>教職員 2.9 保護者 3.1 児童 3.1</p>	<p>3.2</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・朝のボランティア、あいさつ運動、児童会への取組等、自主的に行動する場面が多くなったと感じる。 ・夢をもつこと、目標をもつこと、とても大切だと思う。今後もキャリア教育と関連させながら取組みを続けていって欲しい。

次年度の取組

<ul style="list-style-type: none"> ○ 諸学力調査の結果・分析を速やかに行い、児童の学力向上につなげていく。 ○ 教師同士の相互参観授業による授業力向上とタブレット端末の効果的な活用推進を図る。 ○ 「あいさつ日本一の学校」を目指し、これまでの取組を継続させていく。 ○ 日常的な食育の推進を図るとともに、地域と連携を図った環境教育の充実を図っていく。 ○ 学校運営協議会の活性化と地域学校協働本部との連携を図り、地域と共にある学校の推進を図る。 ○ 学校、家庭、地域がつながっていく PTA 活動の充実を図っていく。
--